



平成 14 年 4 月 2 日

各 位

株式会社プロックリー

代表取締役 木谷 高明

(登録銘柄・コード 2706)

問い合わせ先

取締役財務経理部長 興津 吉繁

TEL(03)5372-6343

### 平成 14 年 2 月期の業績予想修正及び配当について

平成 13 年 10 月 11 日付当社「平成 14 年 2 月期中間決算短信」にて発表いたしました平成 14 年 2 月期(平成 13 年 3 月 1 日から平成 14 年 2 月 28 日)の業績予想修正を行うとともに及び期末配当を下記のとおり定時株主総会に付議する予定であります。

記

#### ・通期業績予想の修正

1. 平成 14 年 2 月期(平成 13 年 3 月 1 日から平成 14 年 2 月 28 日)業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	9,870	720	390
今回修正(B)	10,003	546	165
増減額(B-A)	133	174	225
増減率	1.3%	24.2%	57.5%

#### 2. 修正理由

(1) 経常利益は次のような要因によって、720 百万円の予想に対し 24.2%減の 546 百万円となる見込となりました。

個人消費が低迷する中で、予想を若干上回る 10,003 百万円(前期比 52.2%増)の売上高を確保できましたが、増加した部分の粗利益率が相対的に低い製商品が多かったため、全体の売上総利益率が予想を下回ったこと。

販売費及び一般管理費が以下の理由により増加したこと。

- ・ 新製品及び将来の顧客開拓のためのマーケティングコスト(広告宣伝費及び販売促進費)が大きかったこと。
- ・ 海外展開及び新店舗出店費用が高んだこと。
- ・ 人員増加に伴う人件費増加を吸収できなかったこと。

(2) 特別損失を 234 百万円の計上することとなったために当期純利益が 390 百万円の予想に対し 57.5%減の 165 百万円となる見込となりました。

- ・ 海外投資損失を 175 百万円と多額を計上することになったこと(平成 14 年 3 月 8 日付発表の「米国合弁事業からの撤退及び撤退に伴う特別損失の計上並びに米国事業の再構築について」を参照ください)
- ・ 店舗再編成に伴う閉鎖損失、POS システムの入れ替えによる除却損失及びその他の投資損失等が発生したこと

3 . 参考：前期の実績(平成 12 年 3 月 1 日から平成 13 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	6 , 5 7 2	6 0 2	3 0 1

#### ・ 配当について

平成 13 年 10 月 11 日付「平成 14 年 2 月期中間決算短信」にて 1 株当たり予想年間配当金を 7 円としておりましたが、次のように普通配当 4 円と上場記念配当 3 円と区分することとし、予定どおり 7 円の配当を平成 14 年 5 月下旬開催の第 8 期定時株主総会において付議する予定であります。

[平成 14 年 2 月期利益配当案]

普 通 配 当	1 株につき	4 円
JASDAQ 上場記念配当	1 株につき	3 円
計	1 株につき	7 円

なお、配当に関する方針については、従来配当は行ってきませんでしたが、平成 14 年 2 月期中間決算短信における利益配分に関する基本方針に記載のように、成長途上の企業として内部留保を重視しつつも当期利益の 10%前後の利益配分をしてまいる方針であります。

以上